

大阪市民の暮らしは地球2.8個分！「ゼロカーボン おおさか」実現のためにできることは？

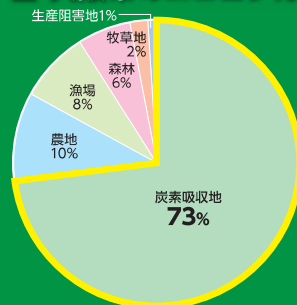
大阪市の「エコロジカル・フットプリント」を算定した結果、世界中の人々が大阪市民と同じ暮らしをすれば、地球2.8個分の資源が必要であることがわかりました。わたしたちの生活は地球の限界を超えており、将来世代の資源を消費していると言えます。

「エコロジカル・フットプリント」とは…

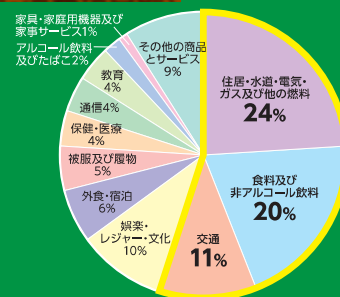
人間の活動が地球環境にどれだけ負荷を与えているのかを示す指標の一つで、人間の活動が地球のどのくらいの資源を必要としているかを数値化したものです。数値化は、資源の再生産や廃棄物の浄化に必要な土地面積で表し、農地、牧草地、森林、漁場、生産阻害地、炭素吸収地の6つの土地利用別で計算します。

■ 大阪市のエコロジカル・フットプリント（土地利用別・消費項目別）

※本エコロジカル・フットプリントの算定には「グローバル・フットプリント・ネットワーク、2021 消費土地利用マトリックス（日本）2021版（<https://www.footprintnetwork.org/>）」を用いています。



「エコロジカル・フットプリント」を土地利用別で見ると、「炭素吸収地」の面積が全体の73%を占めています。つまり、わたしたちの暮らしにおいて、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素（CO₂）を排出し、それを吸収するために多くの土地面積が必要となっています。



消費項目別で見ると、「住居・光熱費」、「食料」、「交通」が消費項目全体の55%を占めており、これらの消費項目による環境への負荷（CO₂の排出など）が大きいことがわかります。したがって、地球温暖化を防ぐには、わたしたちのライフスタイルを見直していく必要があります。

実践！脱炭素アクション

デコ活
くらしの中のエコロがけ

